

2024年3月期 第1四半期 決算補足資料

2023年8月4日



ダイワホールディングス株式会社

(証券コード : 3107)

2024年3月期 第1四半期（2023年4月1日～2023年6月30日）

ITインフラ流通事業において安定的に需要を獲得
前期業績に対して売上高・営業利益ともに2桁成長

ITインフラ流通事業

企業・官公庁向けは、主にPCやサーバー、サービス&サポートが好調となり、サブスクリプション型サービスの契約数も増加
文教市場は小中高の児童・生徒向け端末が行き届き、教員向け端末の需要により案件数が増加
コンシューマ向け市場は物価上昇による消費マインド低下の影響もあり需要面で低調

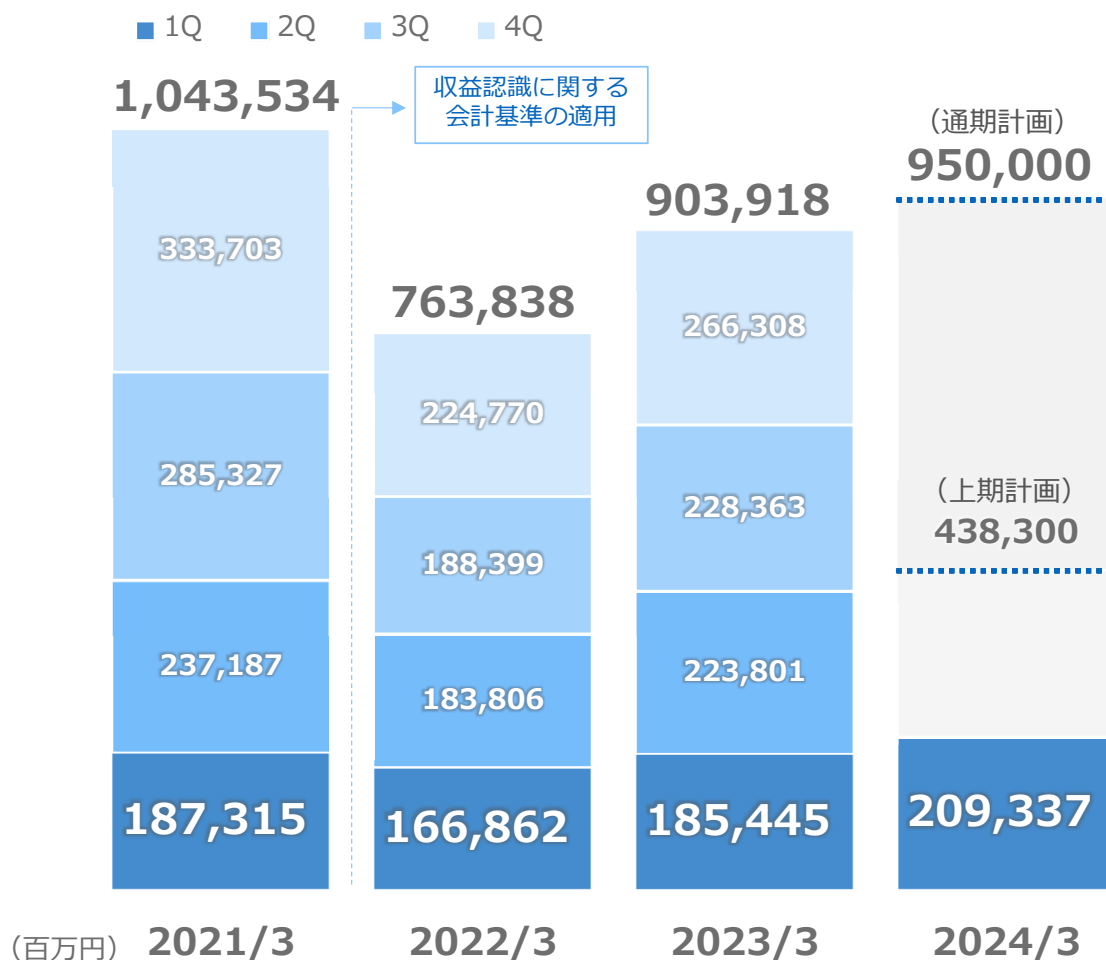
繊維事業

制汗シートやコスメ分野等の不織布製品や、海外向けの難燃レーヨン是好調だが、米国向け建材やカートリッジフィルターの受注は伸び悩み、利益面では事業全般でエネルギーコスト増加等の影響により苦戦

産業機械事業

工作機械部門はエネルギー業界向けを中心に堅調に推移するも、自動機械部門の本体機台納品が第2四半期に集中することとなり減収減益

2024年3月期 1Q累計 売上高



売上高 **209,337** 百万円

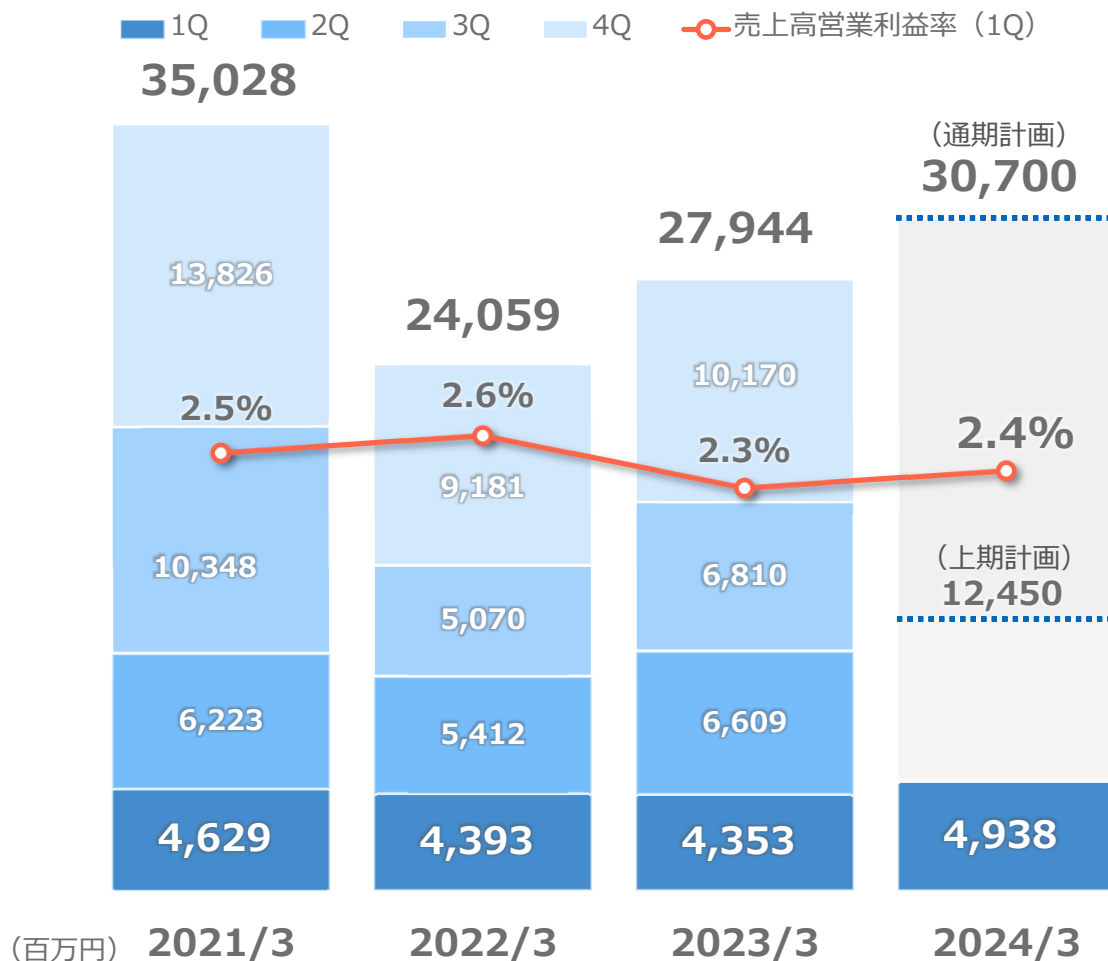
前年同期比 + **12.9%**

進捗率 上期 **47.8%** / 通期 **22.0%**

1Qとしては過去最高の売上高

※「収益認識に関する会計基準」の適用についてはP17に記載しています。

2024年3月期 1Q累計 営業利益



営業利益 **4,938**百万円

前年同期比 + **13.4%**

営業利益率 **2.4%**

進捗率 上期 **39.7%** / 通期 **16.1%**

2024年3月期 1Q累計 連結決算概況



(百万円)	2023/3 1Q	2024/3 1Q	増減	前期比	上期計画	進捗率
売上高	185,445	209,337	+ 23,892	+ 12.9%	438,300	47.8%
営業利益	4,353	4,938	+ 584	+ 13.4%	12,450	39.7%
経常利益	4,542	5,044	+ 502	+ 11.1%	12,650	39.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,146	3,442	+ 296	+ 9.4%	8,480	40.6%
1株当たり 四半期純利益 (円)	33.15	36.83				

(百万円)	2023/3	2023/6	増減	主な増減理由
総資産	406,688	386,668	△20,020	売上債権等の減少
純資産	143,961	146,036	+ 2,074	
自己資本比率	35.2%	37.5%		

2024年3月期 通期業績予想

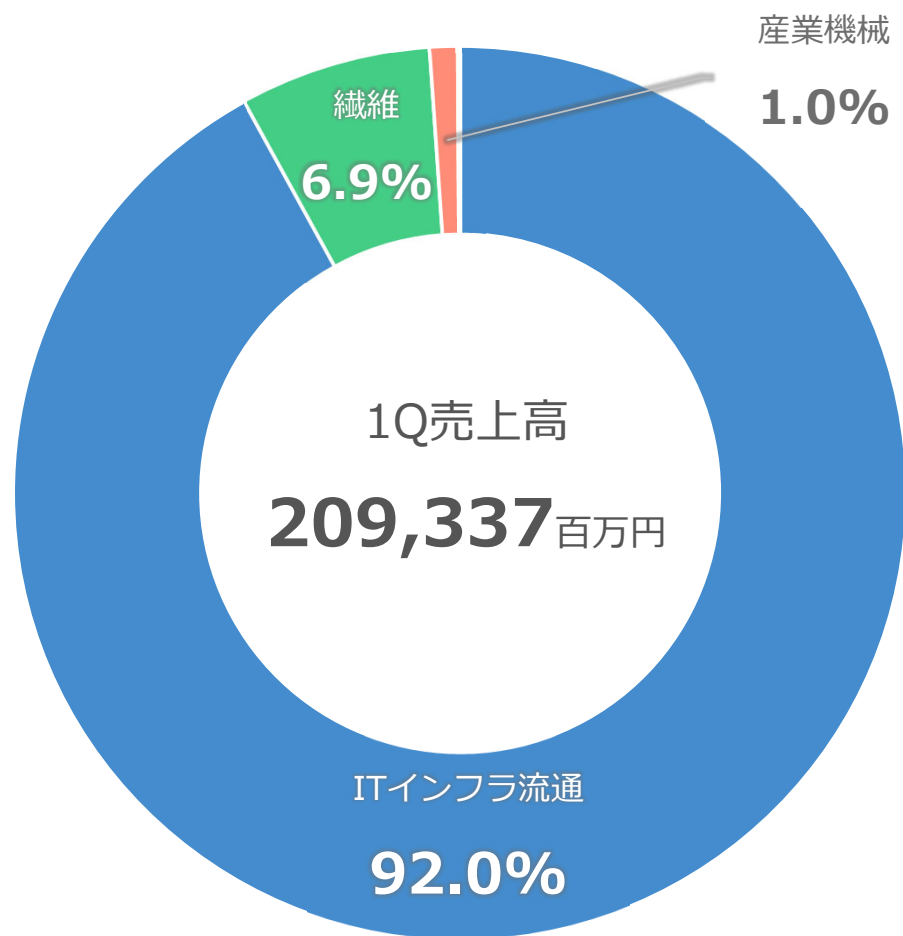
(百万円)	2023/3 (実績)		2024/3 (予想)		増減	前期比
	金額	率	金額	率		
売上高	903,918		950,000		+ 46,081	+ 5.1%
ITインフラ流通	828,997		872,700		+ 43,702	+ 5.3%
繊維	61,980		63,680		+ 1,699	+ 2.7%
産業機械	12,170		13,000		+ 829	+ 6.8%
営業利益	27,944	3.1%	30,700	3.2%	+ 2,755	+ 9.9%
ITインフラ流通	25,394	3.1%	26,550	3.0%	+ 1,155	+ 4.6%
繊維	1,499	2.4%	2,955	4.6%	+ 1,455	+ 97.0%
産業機械	886	7.3%	1,150	8.8%	+ 263	+ 29.7%
経常利益	28,608	3.2%	31,000	3.3%	+ 2,391	+ 8.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,059	2.1%	20,420	2.1%	+ 1,360	+ 7.1%

2024年3月期 1Q累計 セグメント別業績



(百万円)		2023/3 1Q	2024/3 1Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	168,611	192,592	+23,981	+14.2%
	繊維	14,250	14,417	+167	+1.2%
	産業機械	2,359	2,182	△176	△7.5%
	その他	224	144	△79	△35.4%
	合計	185,445	209,337	+23,892	+12.9%
営業利益	ITインフラ流通	3,923	4,538	+614	+15.7%
	繊維	244	224	△20	△8.5%
	産業機械	167	137	△29	△17.8%
	その他	17	20	+2	-
	(調整額)	0	18	+18	
	合計	4,353	4,938	+584	+13.4%

セグメント構成割合



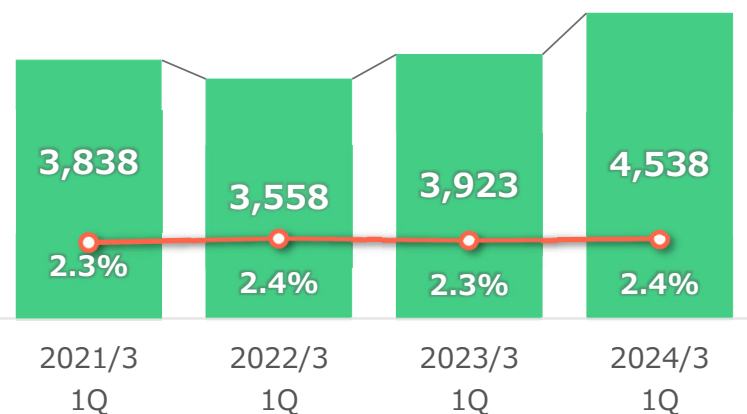
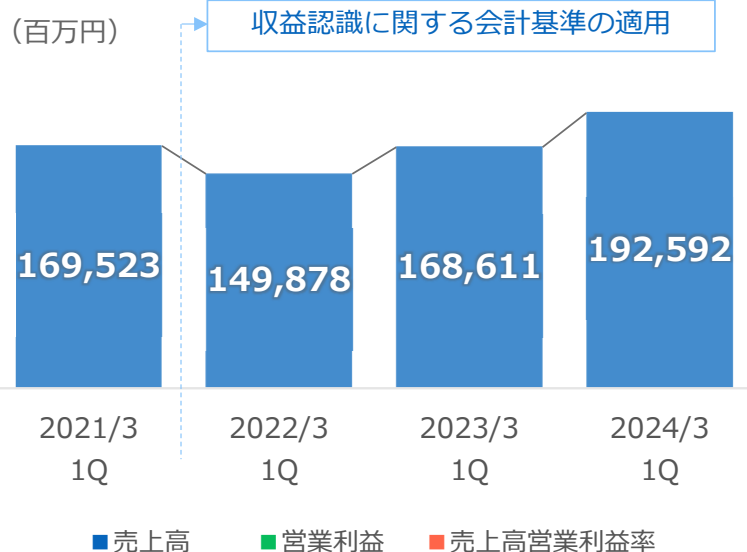
売上高構成割合

	2023/3 1Q	2024/3 1Q
ITインフラ流通	90.9%	92.0%
繊維	7.7%	6.9%
産業機械	1.3%	1.0%

営業利益構成割合

	2023/3 1Q	2024/3 1Q
ITインフラ流通	90.1%	91.9%
繊維	5.6%	4.5%
産業機械	3.8%	2.8%

ITインフラ流通事業



売上高

192,592百万円 (前期比+14.2%)

※取扱高

207,509百万円 (前期比+14.2%)

営業利益

4,538百万円 (前期比+15.7%)

PC出荷台数

63.2万台 (前期比+2.9%)

サーバー出荷台数

1.2万台 (前期比+6.9%)

サブスクリプション取扱高

24,252百万円 (前期比+14.5%)

iKAZUCHI(雷)取扱高

6,840百万円 (前期比+44.2%)

事業概況

コーポレート 向け市場

- 企業・官公庁向けは、安定的に需要を獲得し、主にPCやサーバー、サービス&サポートが増加、サブスクリプション製品については、クラウドサービスの契約数も増加し好調に推移
- 文教市場は教員向け端末の需要により案件数増加

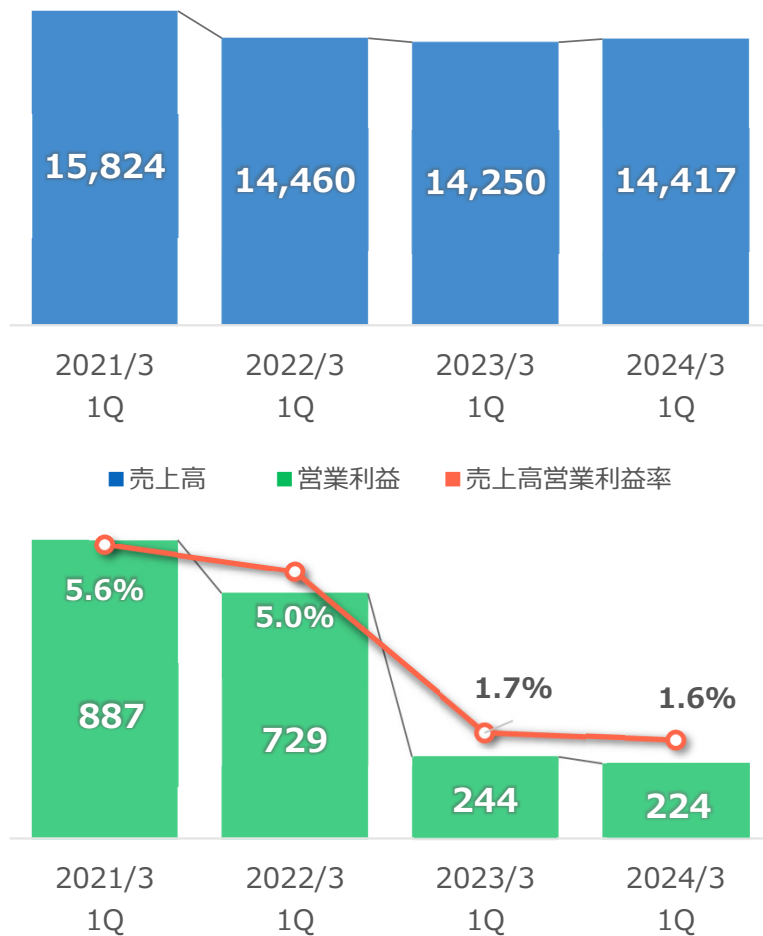
コンシューマ 向け市場

- 量販店向けは家電やPCで苦戦するも、EC向けはPCやモニタ等が好調に推移
- 前年同期比で利益率が改善したことで減収増益

※「取扱高」の定義についてはP18に記載しています。

繊維事業

(百万円)



売上高

14,417百万円 (前期比+1.2%)

営業利益

224百万円 (前期比△8.5%)

事業概況

合繊・レーヨン部門

■ 制汗シートやコスメ分野等の不織布製品や海外向けの難燃レーヨン素材は好調に推移したが、米国向け建材が大幅減少し、輸入品との競合や原燃料価格高騰の影響を受け減益

産業資材部門

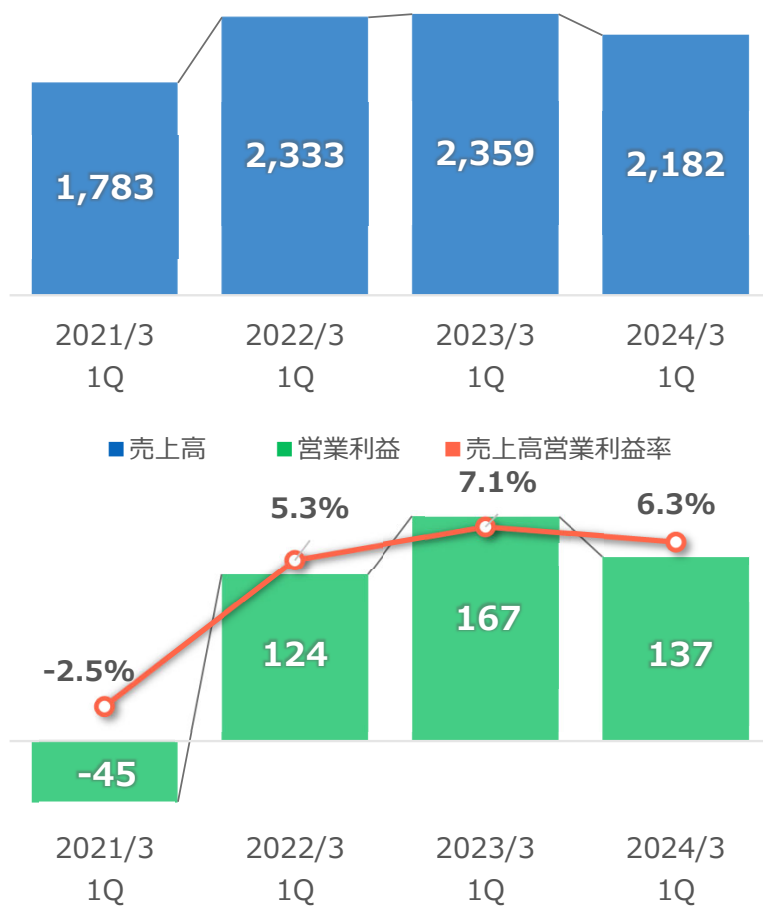
■ 電子部品業界向けカートリッジフィルターは受注回復が遅れ苦戦も、カンバス・メッシュベルトの受注や建築シート・帆布関連は堅調に推移

衣料製品部門

■ 米国向けは消費低迷により苦戦するも、国内向けは価格改定が一定程度浸透し採算が改善

産業機械事業

(百万円)



売上高

2,182百万円 (前期比△7.5%)

営業利益

137百万円 (前期比△17.8%)

事業概況

工作機械部門

- 日本工作機械工業会の4～6月受注総額は前期比19.4%減となる中、エネルギー業界の継続的な設備投資や航空業界の回復もあり受注高は前期比3.2%増加
- 中国市場での風力発電業界向け出荷およびサービス売上増加により増収増益

自動機械部門

- 材料費やエネルギー価格の高騰により生産への影響を受けたが、人手不足を補うため設備投資による効率化へのニーズは高まりが見られる
- 第2四半期に本体出荷が集中したため減収減益

2024年3月期 1Q 連結貸借対照表 (決算短信P3-4)



(百万円)	2023/3	2023/6	増減		2023/3	2023/6	増減
流動資産	354,188	331,876	△22,311	流動負債	231,884	208,180	△23,703
現金及び預金	52,123	54,975	+2,851	支払手形及び買掛金	192,594	171,346	△21,248
受取手形及び売掛金	239,856	205,554	△34,301	短期借入金	12,869	12,249	△620
商品及び製品	39,273	51,257	+11,983	固定負債	30,842	32,451	+1,608
有形固定資産	37,127	37,120	△6	長期借入金	13,230	13,430	+200
無形固定資産	2,081	4,231	+2,150	負債合計	262,726	240,631	△22,094
投資その他の資産	13,291	13,439	+147	純資産合計	143,961	146,036	+2,074
資産合計	406,688	386,668	△20,020	負債純資産合計	406,688	386,668	△20,020

受取手形及び売掛金	239,856	→	205,554	△34,301	DISの売上債権の回収
支払手形及び買掛金	192,594	→	171,346	△21,248	DISの仕入債務の減少
借入金合計	26,099	→	25,679	△420	

2024年3月期 1Q累計 連結損益計算書 (決算短信P5)



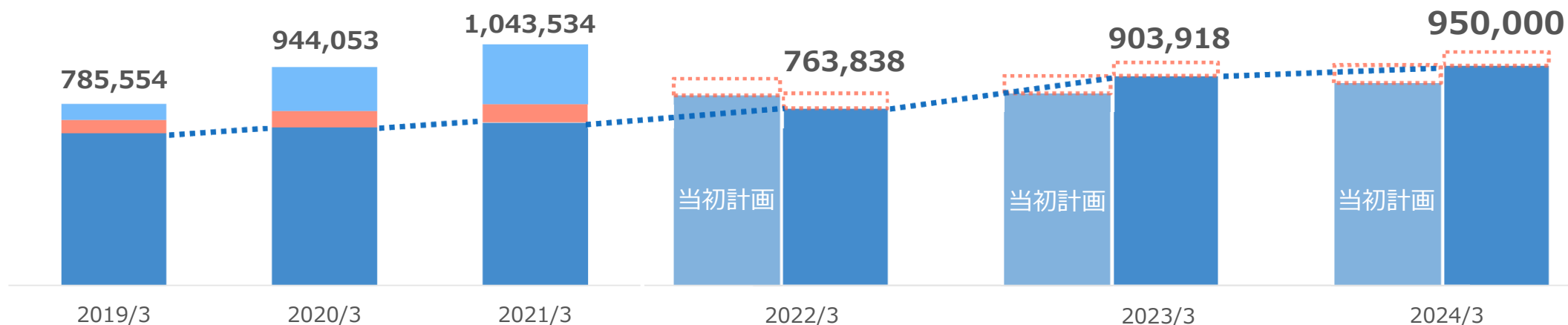
(百万円)	2023/3 1Q		2024/3 1Q		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	185,445		209,337		+ 23,892	+ 12.9%
売上総利益	14,446	7.8%	16,709	8.0%	+ 2,262	+ 15.7%
販売費及び一般管理費	10,093	5.4%	11,771	5.6%	+ 1,678	+ 16.6%
営業利益	4,353	2.3%	4,938	2.4%	+ 584	+ 13.4%
経常利益	4,542	2.4%	5,044	2.4%	+ 502	+ 11.1%
特別利益	44		0			
特別損失	0		25			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,146	1.7%	3,442	1.6%	+ 296	+ 9.4%

中期経営計画の進捗状況＜収益指標＞

(百万円)	2022/3		2023/3		2024/3	
	(当初計画)	(実績)	(当初計画)	(実績)	(計画)	(業績予想)
売上高	820,000	763,838	830,000	903,918	875,000	950,000
営業利益	28,500	24,059	28,600	27,944	31,400	30,700
営業利益率	3.5%	3.1%	3.5%	3.1%	3.6%	3.2%

＜売上高推移イメージ＞

- 集中的な端末需要に伴う売上高 ※一定条件に基づく概算
(Windows更新・GIGAスクール構想・テレワーク需要等)
- 収益認識基準適用の概算影響額 ※実績に基づく試算



株主還元



1株配当

自己株式取得

配当性向

総還元性向

2023年3月期

中間	期末	年間
30円	32円	62円

約30億円 (2022/5/13~10/31)

30.6%

46.2%

2024年3月期 (予想)

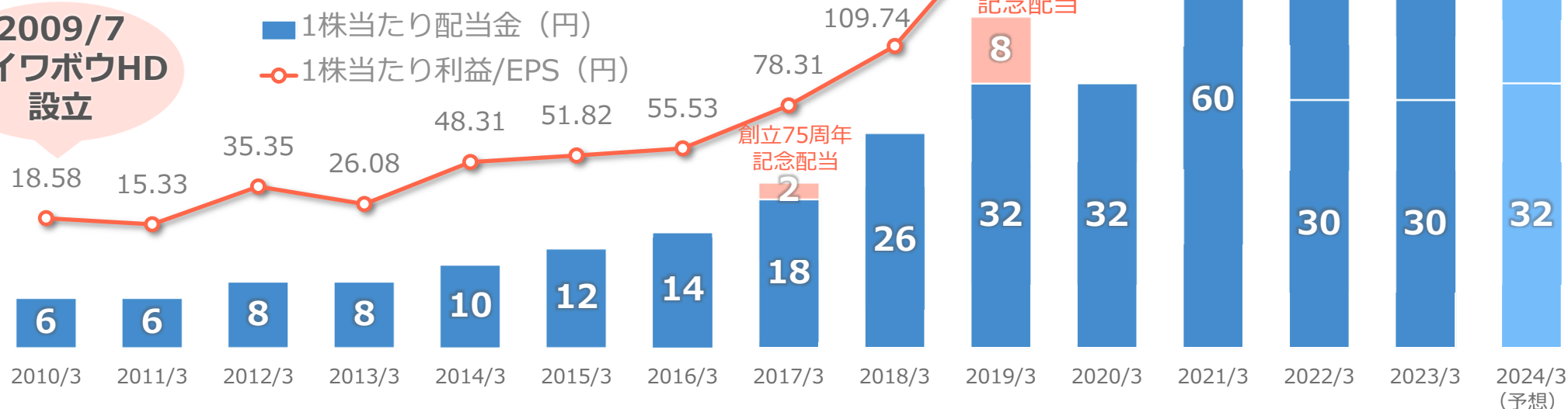
中間	期末	年間
32円	32円	64円

今期も継続実施を検討中

29.5%

—

2009/7
ダイワボウHD
設立



※株式会社 (2017/10/1) ・株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

マテリアリティ策定

Daiwabo Sustainable Action2023

持続可能な社会との共生を実現するため
優先的に取り組むべき課題として
「社会・産業」「環境」「人」「ガバナンス」
の4分野で設定

社会・産業	環境
■ 地域経済発展に向けた事業活動の推進 ■ 持続可能な社会インフラへの貢献 ■ デジタル社会への貢献	■ 脱炭素社会の実現に向けた取り組み ■ サーキュラーエコノミーへの貢献 ■ 地球環境保護の推進
人	ガバナンス
■ 事業活動における人権の尊重 ■ 人的資本の拡充 ■ 多様な人材の活躍、ウェルビーイングの向上	■ コーポレート・ガバナンス (持続可能な企業成長、グループ・ガバナンス、リスクマネジメント)

ESG外部評価

2023年6月にFTSE Blossom Japan Sector Relative Index構成銘柄に初選定されました。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

※1

2023年6月にMSCI 日本株女性活躍指数（WIN）の構成銘柄に継続選定されました。

**2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)**

※2

※1 FTSE Russell（FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標）は、第三者調査の結果、ダイワボウホールディングス株式会社が、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。
<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

※2 ダイワボウホールディングス株式会社のMSCI指数への組入れ、および本リリースにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社によるダイワボウホールディングス株式会社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

【参考資料】

- 収益認識基準の影響
- 業績推移グラフ

収益認識に関する会計基準の適用について

2022年3月期より企業会計基準第29号「**収益認識に関する会計基準**」を適用
ITインフラ流通事業の一部取引について売上高の計上方法を変更

(百万円)		2023/3 1Q	2024/3 1Q	増減
売上高	①旧基準	198,544	224,254	+25,710 +12.9%
	②新基準	185,445	209,337	+23,892 +12.9%
	②-①	△13,099	△14,916	
営業利益		4,353	4,938	+584 +13.4%
営業 利益率	①旧基準	2.2%	2.2%	
	②新基準	2.3%	2.4%	

<主な変更点>

■ 代理人取引に係る収益認識

ITインフラ流通事業における**保守・保証サービス、ソフトウェア（継続課金等）販売などの取引の一部**について、販売先への商品・サービスの提供における当社の役割が、会計基準上の「**代理人**」に該当するため収益認識の方法を変更

【旧基準】：販売対価の**総額** (A) を売上計上



【新基準】：販売対価の**純額** (A-B) を売上計上



(補足) ITインフラ流通事業の「取扱高」について

取扱高

Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と同じ基準で算出
(= 会計基準変更前の売上高)
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- 管理会計における営業評価

取扱高

売上高

「収益認識に関する会計基準」

適用による影響額
(2022/3期～)

一部の保守・保証サービス、iKAZUCHI(雷)によるソフトウェア販売など、会計基準上の「代理人取引」について、販売対価の純額を売上高に計上

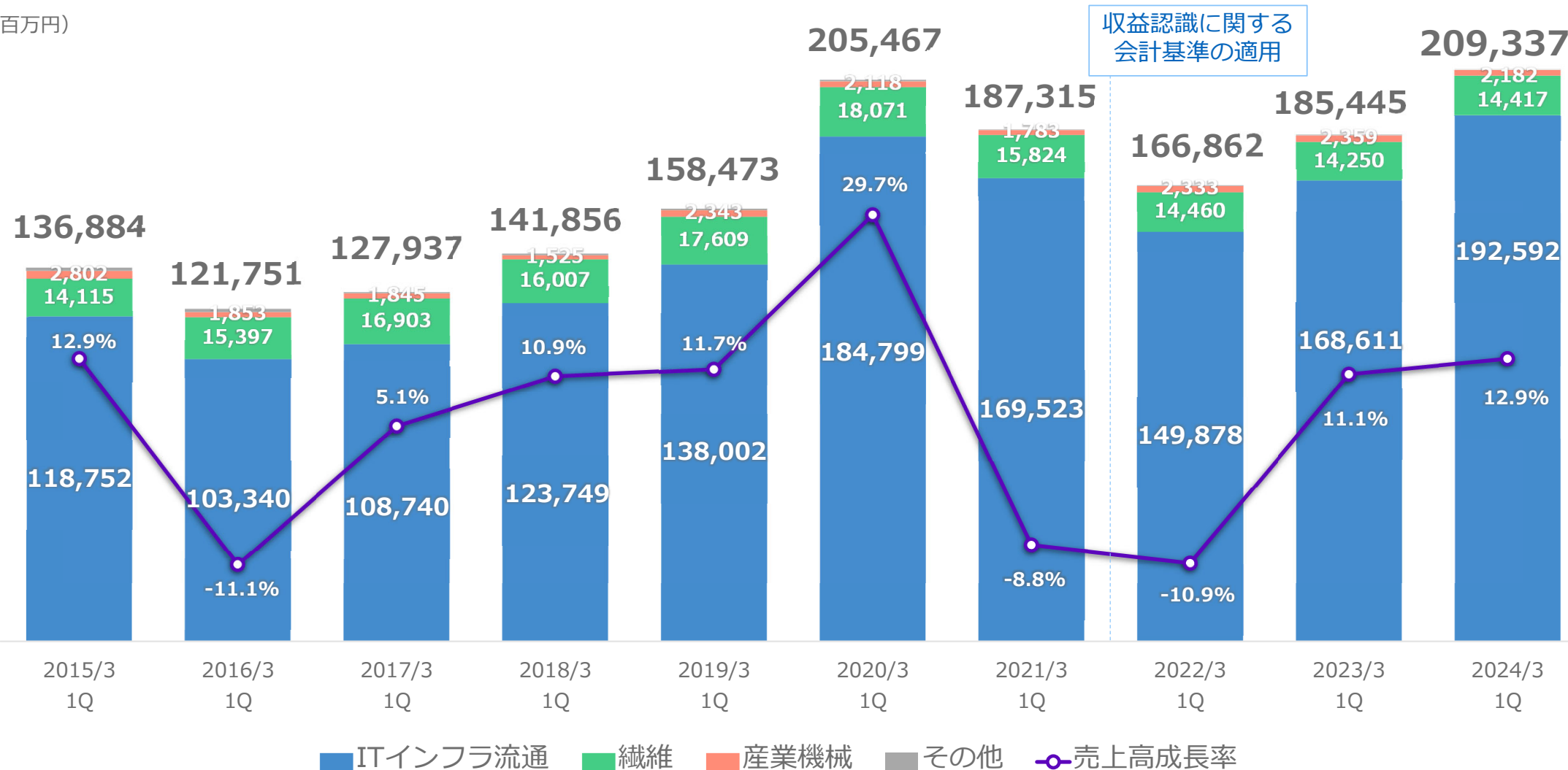
売上高

Net Sales

- 2022年3月期以降の売上高
- 財務会計における業績評価

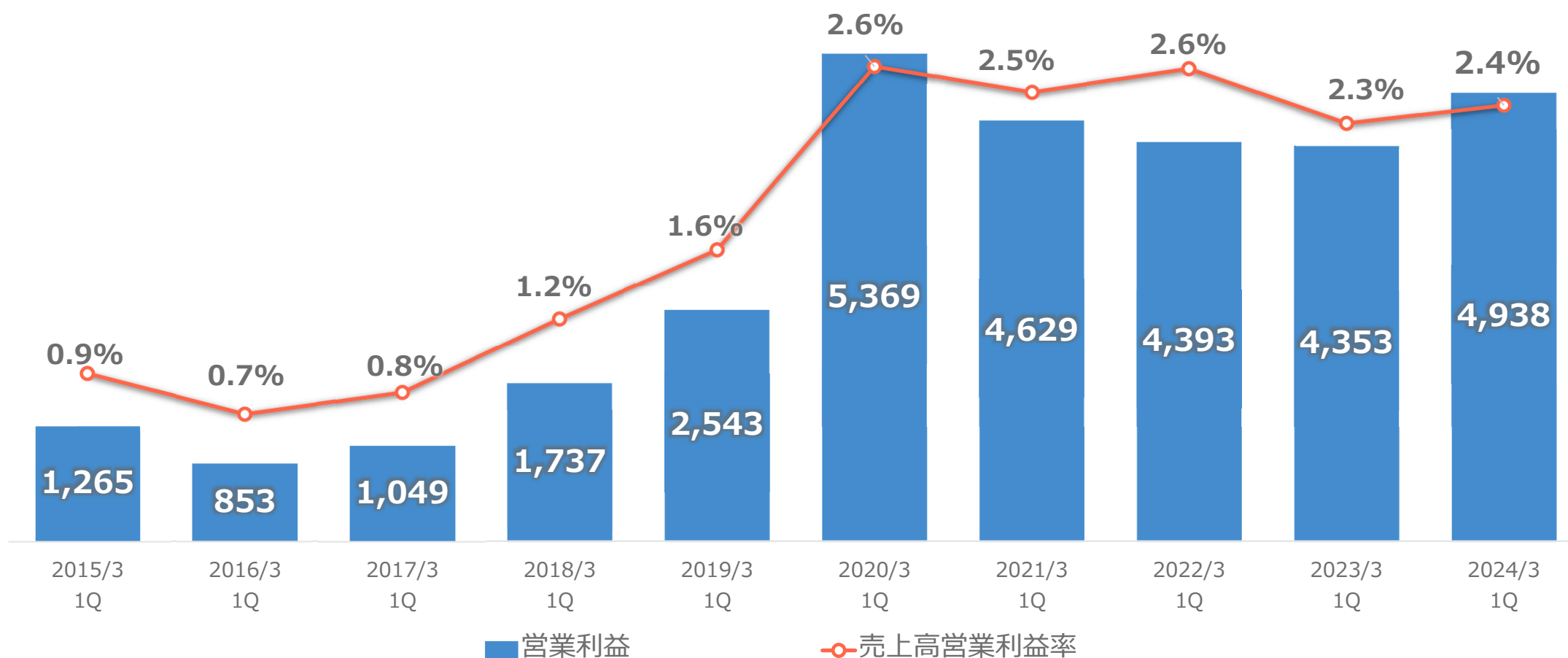
連結売上高（1Q累計期間）

(百万円)



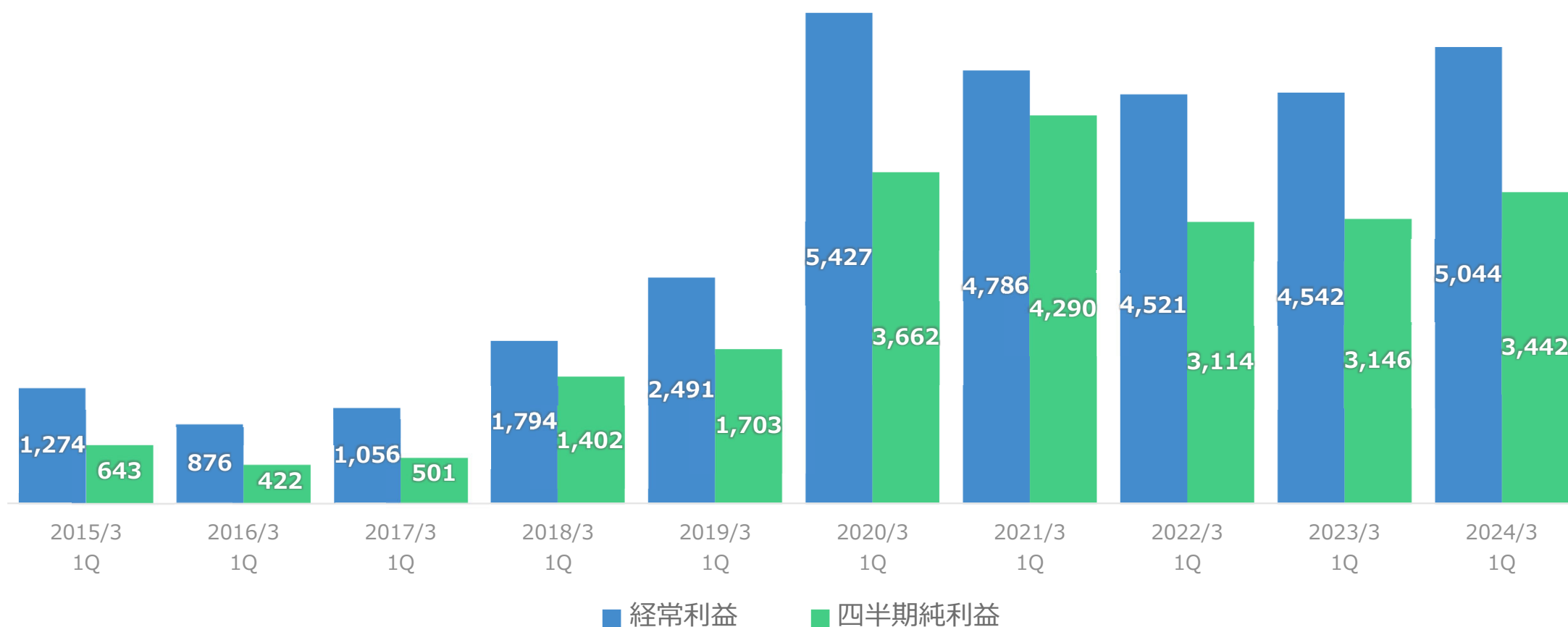
連結営業利益（1Q累計期間）

(百万円)



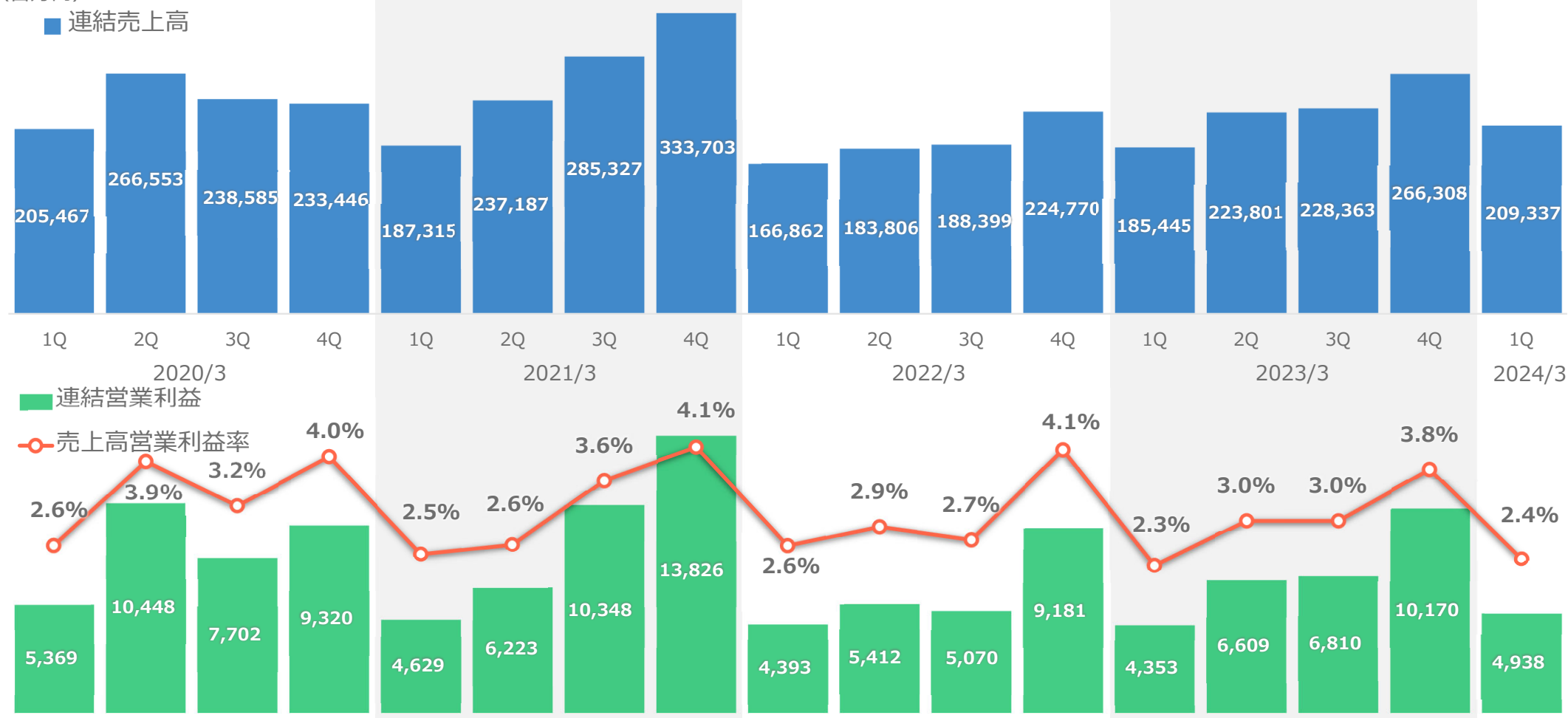
連結經常利益・連結四半期純利益（1Q累計期間）

(百万円)



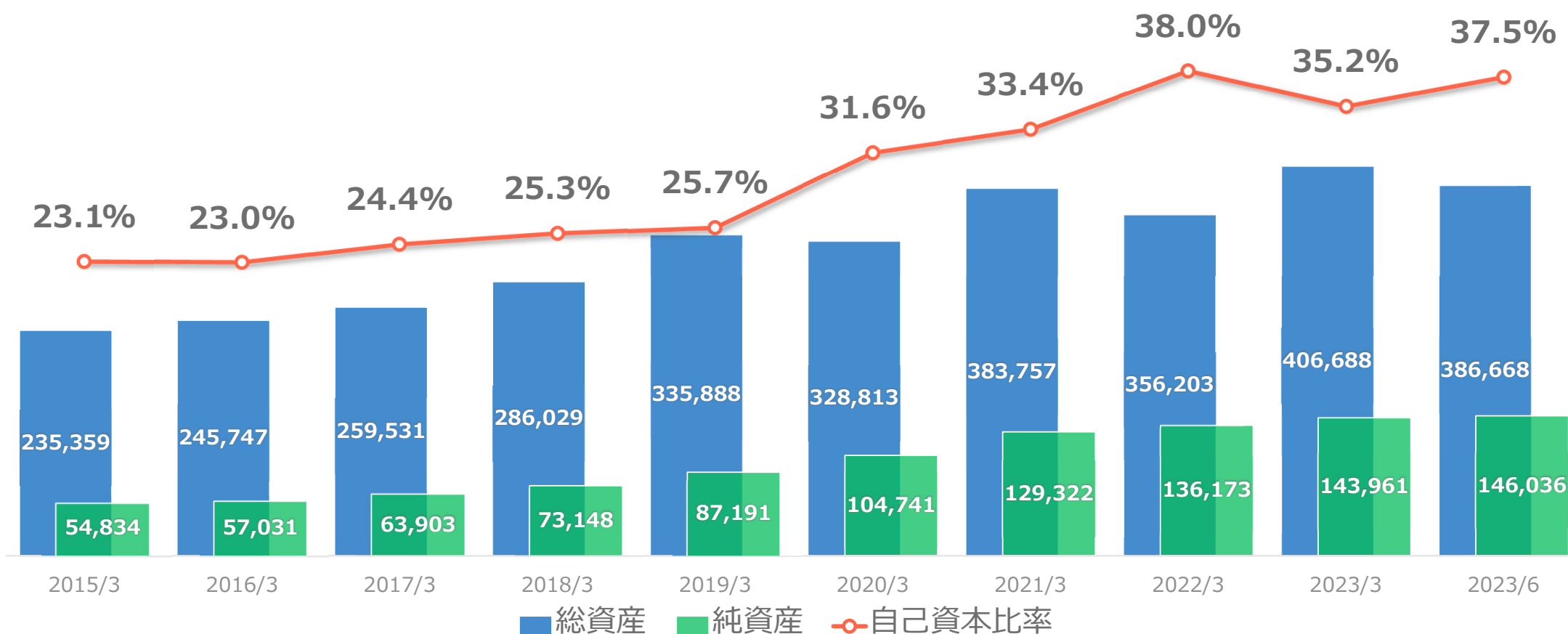
四半期別業績

(百万円)



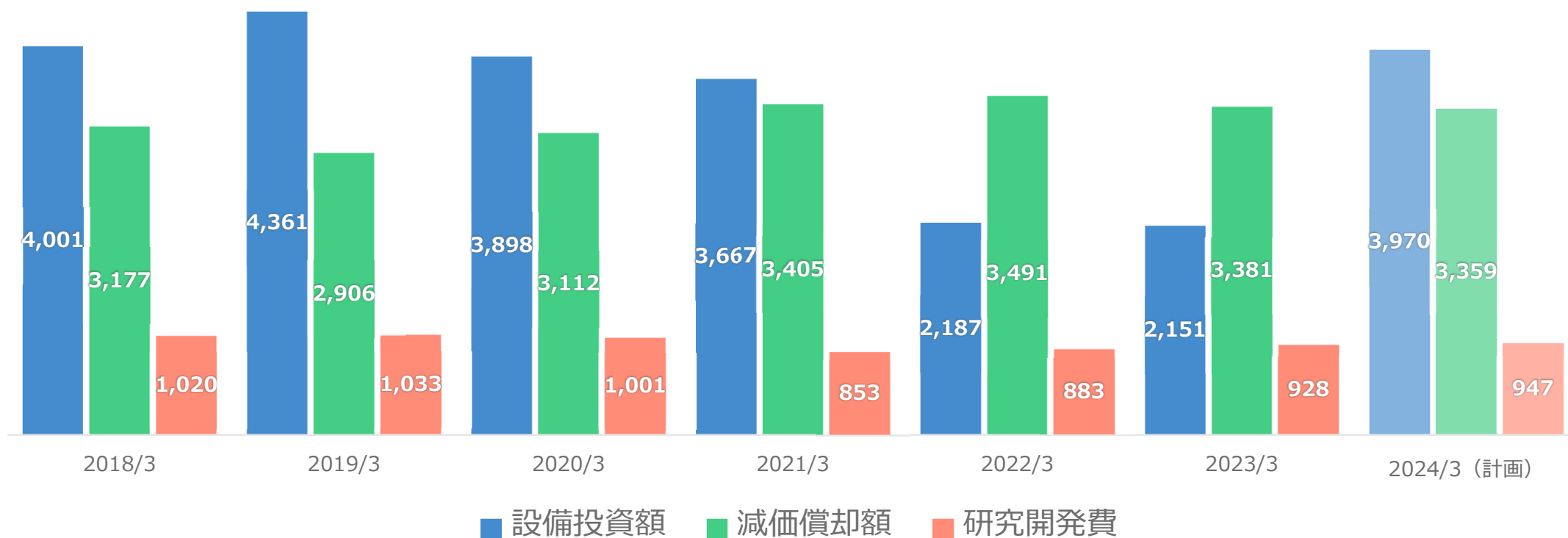
連結総資産・連結純資産・自己資本比率

(百万円)



設備投資額・減価償却額・研究開発費

(百万円)



<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。